



僕が東大を志願し始めたのは高三の春でした。高二の夏に学校で行われた勉強合宿に参加したのを皮切りに、僕の受験勉強が本格的に始まりました。先生方に積極的に質問したり相談したりして勉強を進めていくうちに、模試での成績は徐々に上がり始め、東大受験を本気で考えるようになったのです。苦手の現代文と数学を克服できず悩みましたが最後まで第一志望を譲らず、東大にこだわりを持ち続けたことが何よりも大変で、かつ何よりも大切なことだったと思います。

受験にライティングはありません。本気でやりたい大学があるなら、今すぐにも勉強を始めるべきです。しかし、目標もなくがんばり続けることにはかなりの苦痛が伴うはず。だから、まず第一に自分の将来についてよく考え、行動することが大切です。科学に興味があるのなら、新書や新聞を積極的に読んでみる。著者の大学を調べてみる。そして自分の将来像を想像してみる。このような過程でしっかりした

の人々の助けが必要。たくさんの方々に感謝する気持ちを忘れないことが何よりも大切だと思います。勉強だけに集中して取り組める時間はおそらく中高にしかありません。しかし、中高においてスポーツに芸術に打ち込み、一生の思い出を作ることも大切なことです。自分の将来を見据えて、多くの人の生活を過ごしてください。

鎮西敬愛学園通信



『東大』合格への道のり

東京大学 理科II類 茶山由一 (名陵中出身)

目標が定まったら、すぐに勉強を始めましょう。勉強で手に入れた知識は血肉となり、新しい視野を与えてくれます。視野の広がりは他者に対する心を広げてくれます。相互理解を深めるためには、自分に対する理解と相手に対する理解無くして成り立つことはありません。受験における古典や歴史の勉強、そして仏教の授業も、自分の国についてよく知り、外国への理解を深めるために大切なことです。このような見地にたてば、受験勉強は決して無駄なものではないと感じるはず。知らなかったことが分かるようになる喜びは何ごとにも代え難いものです。勉強を楽しんでほしいと思います。

大分大学 医学部医学科

東京大学 理科II類

●国公立大学・短大 36名

●私立大学・短大 209名

●大学校 10名 ●専門学校 21名 合格

難関私立大学

- 早慶上理 11名
早稲田・慶應義塾・上智・東京理科
- MARCH 10名
明治・青山学院・立教・中央・法政
- 関関同立 27名
関西学院・関西・同志社・立命館

医学部・歯学部

- 大分大学 医学部医学科
- 産業医科大学 医学部医学科
- 福岡大学 医学部医学科
- 帝京大学 医学部医学科
- 奥羽大学 歯学部歯学科
- 神奈川歯科大学 歯学部歯学科
- 福岡歯科大学 歯学部歯学科

薬学部

- 慶應義塾大学 薬学科 1
- 東京理科大学 薬学科 1
- 日本大学 薬学科 1
- 帝京大学 薬学科 1
- 立命館大学 薬学科 5
- 神戸学院大学 薬学科 1
- 神戸薬科大学 薬学科 2
- 広島国際大学 薬学科 4
- 福山大学 薬学科 1
- 福岡大学 薬学科 1
- 第一薬科大学 薬学科 1
- 九州保健福祉大学 薬学科 4

学校法人 鎮西敬愛学園
 敬愛幼稚園 | 敬愛中学校
 敬愛高等学校
 〒800-0035
 北九州市門司区別院6-1
 中・高Tel 093(381)3537
 幼稚園Tel 093(371)2267
 mail info@keiai.net
 敬愛小学校
 〒800-0057
 北九州市門司区
 大里新町11-7
 Tel 093(381)0611
 mail info-e@keiai.net

- 東京大学 1
- 東京海洋大学 1
- 東京外国語大学 1
- 神戸大学 1
- 広島大学 1
- 山口大学 1
- 島根大学 1
- 九州大学 2
- 九州工業大学 4
- 福岡教育大学 3
- 熊本大学 1
- 佐賀大学 1
- 大分大学 2
- 宮崎大学 1
- 山口県立大学 2
- 下関市立大学 5
- 北九州市立大学 7
- 水産大学校 1
- 防衛大学校 9
- 奥羽大学 1
- 慶應義塾大学 3
- 早稲田大学 5
- 東京理科大学 3
- 明治学院大学 1
- 明治大学 4
- 青山学院大学 2
- 中央大学 2
- 法政大学 2
- 津田塾大学 1
- 東京農業大学 3
- 日本大学 5
- 北里大学 3
- 帝京大学 2
- 東京工科大学 2
- 専修大学 2
- 東海大学 7
- 国際武道大学 1
- 洗足学園音楽大学 1
- 横浜商科大学 1
- 神奈川歯科大学 1
- 桐朋学園大学 1
- 名古屋経済大学 1
- 京都光華女子大学 1
- 大阪経済法科大学 1
- 京都造形芸術大学 1
- 関西学院大学 6
- 関西大学 1
- 同志社大学 4
- 立命館大学 17
- 京都女子大学 3
- 龍谷大学 11
- 大阪芸術大学 1
- 近畿大学 4
- 奈良大学 1
- 高野山大学 1
- 神戸学院大学 1
- 神戸薬科大学 2
- 岡山理科大学 2
- 川崎医療福祉大学 1
- 福山大学 1
- 広島国際大学 5
- 宇部フロンティア大学 1
- 梅光学院大学 2
- 松山東雲女子大学 1
- 西南学院大学 4
- 福岡大学 21
- 産業医科大学 1
- 立命館アジア太平洋大学 5
- 福岡歯科大学 1
- 第一福祉大学 1
- 第一薬科大学 1
- 中村学園大学 2
- 福岡女学院大学 2
- 西南女学院大学 5
- 西日本工業大学 1
- 日本赤十字九州国際看護大学 1
- 九州共立大学 1
- 九州産業大学 16
- 九州女子大学 3
- 九州保健福祉大学 8
- 久留米工業大学 1
- 久留米大学 1



木村公紀
産業医科大学医学部
(福岡教育大学附属小倉中出身)

高校に入学した時は、九大医進コースが始まったばかりなので、これからどうなるのか不安がありました。しかし熱意ある先生方を始め、土曜日の河合塾の授業、そして励ましあえる友達のおかげにより、医学部に合格することができ、現在忙しいですが楽しい大学生活を送ることができています。特に国語科の財前先生には何度も同じ問題を添削してもらったり、適切なアドバイスをいただいたりと非常に世話になりました。三年間ありがとうございました。



荒添真衣
大分大学経済学部
(福岡教育大学附属小倉中出身)

私は、三年の夏休みから必死の受験勉強を始めました。それまでも勉強はしていましたが、甘い態度だったと思います。夏休みは毎日朝から夜まで勉強し、九月の模試の判定は、良いものになりました。ただ、絶対的勉強量の不足は、模試ごとのムラとなり、大きな悩みとなったこともあります。しかし、最後まで諦めず合格の切符をつかむことができました。とにかく受験勉強は早くとりかかりましょう！そして、最後の最後まで、頑張りぬくことが重要だと思います。



伊藤貴昭
九州工業大学情報工学部
(敬愛中出身)

僕は現在九州工業大学に通っています。当たり前のことですが、大学では自分の

目指す職業に直結した専門的な講義が展開されています。僕が思った大学選びのポイントとは将来の目標を明確にすることです。このことは大学の講義を受けて改めて思いました。「したいことがないからとりあえず…」という考えでは、せっかくの講義の内容が身に付きません。後輩のみなさんも大学に「とりあえず」ではなく、したいことを見つけ希望の大学に行ってほしいと思います。



石田沙代子
熊本大学工学部
(戸ノ上中出身)

大学に入学してまだそんなに日は経っていないのですが、大学の授業を受けてみて、高校時代にこれをしていてよかった。また、こうしてたらよかった。と思うことがあったので、皆さんの参考になれば…と思います。

まず英語に関してですが、高校生の間なるべく文法をマスターしておくことをおすすめします。大学では主にオーラルとリーディング中心で、改めて文法を振り返ることがないので、そこでつまずくと大変です。それにプラス単語力があればスムーズに大学での勉強をスタートできます。

数学や理科に関しては、苦手分野など特定の分野ばかりに集中しすぎないことです。苦手分野をなくすることは一番最初にしておきたいことですが、勉強する分野がかたよりすぎると、得意な分野でも問題を解くスピードが落ちたりしてしまいます。いろいろな問題をまんべんなく解いて、苦手分野は復習の回数を増やすほうが効率も良いと思います。これらのことは入試にも直結するでしょう。大学生活は色々なことに挑戦できる場所です。合格に向けて頑張ってください。

私の合格体験記

先輩から後輩へ送るメッセージ



木下友希
福岡教育大学 教育学部
(志徳中出身)

私が一番皆さんに伝えたいことは、途中であきらめてしまうのはもったいない！ということ。私は前期で不合格だったとき、もう勉強できないとか、後期合格も不可能だろうと思っただけであきらめていました。でもそんな時に「せっかくのチャンスなんだから受けてみて！」と背中を押してくれた先生や、「みんな応援してるから、あと少し頑張つて！」とはげましてくれた家族の言葉を聞いて目が覚めたように思います。

こんなふうにあきらめてしまえばそうになったときのおススメは、自分を応援してくれる人達のことを思い出して、温かい気持ちになることです。皆さんも最後の最後まであきらめないでください!!



水野夏央
慶應義塾大学経済学部
(思永中出身)

私が真剣に受験を意識し始めたのは高校三年生になる直前の春休みでした。それまではただ学校の勉強をしていただけでした。しかし、このままじゃ駄目だと思い本格的に受験の勉強を始めました。

最初は焦って勉強して、なかなか上がらない成績に苛立ちました。それでも諦めることなく毎日勉強を続けていくと、徐々に成績も上がり無事に合格することができました。

焦らず、毎日続けていくことが一番大事なことだと思います。



花本直哉
同志社大学理工学部
(緑丘中出身)

僕は三年生になるまで、学校の宿題や定期テストなどあまり受験勉強というものを意識していませんでした。しかし、宿題をしつかりやって、テストで点が取れるように勉強していたことが全部受験勉強につながっていたのだと思います。学校の課題をしつかりとこなしていくことで基礎の力が十分に養われたと思います。

三年生になってからは、苦手なものを苦手なままにしておかないように計画を立てて、克服していくことに力を入れました。苦手な分野を一つ一つ潰していくことで、模試や試験で、苦手だった分野が解けるということが自信になったと思います。

これから受験を迎える後輩の皆さんは、勉強するときは勉強、休むときは休むといったメリハリをつけて頑張ってください。



関拓磨
佐賀大学経済学部
(敬愛中出身)

僕は前期試験ではなく後期試験で大学に合格しました。前期で受験する大学が第一志望ですから、不合格だったときは落ち込みました。だけど、終わったことをいつまでも引きずっていても仕方がない、まだ後期試験があるのだからそれに向けて頑張ろう、という気持ちの切り替えをしました。その結果、大学に合格することが出来たと思います。

みなさんも最後まで諦めずに頑張れば、自然と良い結果は出てくると思います。

